

福島のいまと 私たちの未来

安心して暮らす権利、放射能に向き合う地域の暮らし、
自然と共生する営みを守りつづける二人のお話に耳をかたむけ、
いまとこれからを一緒に考えてみませんか？

日時: 2019年11/30(土)14時~17時

会場: 鳥取県立人権ひろば21「ふらっと」 (鳥取市扇町21番地)

※駐車場の数が限られます。できるだけ乗り合わせていただくか、公共交通機関をご利用ください。

磐梯山

福島原発事故は、いまもつづいています。しかし事故から8年半以上が経つなか、その風化がすすんでいます。

放射能のリスクが過小評価されることで<※1>、誰にとっても大切な、ふるさとで安心して暮らす権利、働く・営む権利、安全・安心に生きるために避難・帰還を選ぶ権利がうばわれ、多くの人びとが苦しんでいます。

また、現地や当事者の声が適切に伝わらないことで、世代を超えて受けつがれる自然と共にある暮らしやコミュニティは分断され、負の連鎖がつづいています。

福島原発事故を経験している私たち自身と未来に関わるテーマとして、報道される機会が減り、なかなか伝わらない原発事故後のいまや地域再生の取り組みを知り、語りあいたいと思います。

第1部 「見えない化」のすすむ原発事故と被害の現状

満田 夏花 さん 国際環境NGO FoE Japan理事、事務局長

第2部 持続可能な環境・循環・共生の社会をつくるために

菅野 正寿 さん ふくしま東和有機農業研究会副会長、里山文化あぶくま研究所共同代表

第3部 トークセッション & ワークショップ



主催: えねみら・とっとり(エネルギーの未来を考える会)、公益社団法人鳥取県人権文化センター

後援: とっとり震災支援連絡協議会

お申込み・問合せ先: 070-5554-5813 (手塚)

<要申込: 定員30名>